

第4回 石川県災害時交通マネジメント会議 (能登半島地震)

日時：令和6年 8月 9日(金)

14:30～15:00

場所：国土交通省北陸地方整備局

金沢河川国道事務所

(Web開催)

議 事 次 第

◆議 事

- (1) これまでの復旧状況
- (2) 交通運用の状況
- (3) 交通状況（交通量、所要時間等）
- (4) 今後の対応（案）

◆配布資料

- ・説明資料

<別紙>

石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 委員名簿

敬称略・順不同

公立小松大学 教授 高山 純一

金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋 涼子

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路管理課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長

国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所 事務所長

国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 支局長

石川県 土木部 道路建設課 課長

石川県 土木部 道路整備課 課長

石川県 警察本部 交通規制課 課長

輪島市役所 建設部 土木課 課長

珠洲市役所 環境建設課 課長

能登町役場 建設水道課 課長

穴水町役場 地域整備課 課長

公益社団法人 石川県バス協会 専務理事

一般社団法人 石川県トラック協会 専務理事

中日本高速道路株式会社 金沢支社 道路管制センター 交通管制課長

西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課長

のと鉄道株式会社 常務取締役兼鉄道部長

I R いしかわ鉄道株式会社 安全推進室長

自衛隊 中部方面隊第4施設団防衛班長

自衛隊 統合幕僚監部参事官付 主任

石川県県民ボランティアセンター 事務局長

一般社団法人 石川県タクシー協会 専務理事

※関係機関に要請し追加する場合もある

第4回

石川県 災害時交通マネジメント会議 （能登半島地震）

説明資料

令和6年8月9日(金)

- ①これまでの復旧状況
- ②交通運用の状況
- ③交通状況（交通量、所要時間等）
- ④今後の対応（案）

①これまでの復旧状況

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の復旧状況

令和6年7月30日(火)7時00分時点
国土交通省・石川県

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、13方向で通路を確保
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。



写真① 国道249号中屋トンネル
(中屋トンネル工区)

- ・9月末までに1車線通行確保予定
- ・R6年内に1トンネルの2車線通行確保予定



写真② 国道249号輪島市野田町
(千枚田工区)

- ・R6年5月2日(木) 1車線通行確保済 (緊急車両・地元車両通行可能)
- ・R6年内に2車線通行確保予定



写真③ 国道249号輪島市町野町大川～浜田町
(大川浜工区)

- ・R6年内に1車線通行確保予定

・主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割 ⇒	約8割 (迂回路を考慮:約9割)
沿岸部への到達 ※2	6方向 ⇒	13方向

※1:輪島市門前町～珠洲市役所、※2:内陸側・海側の両方

・孤立地区数の推移※3

1月5日8時	33地区 (最大3,345人)
1月19日	実質的に解消 ※4

※3:内閣府防災資料より

※4:2/13に全て解消

・生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧※5

優先復旧の要望箇所 への対応状況	43/43箇所 (5月8日完了)
---------------------	---------------------

※5:水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り



写真④ 国道245号珠洲市
(逢坂トンネル工区)

- ・R6年内に1車線通行確保予定



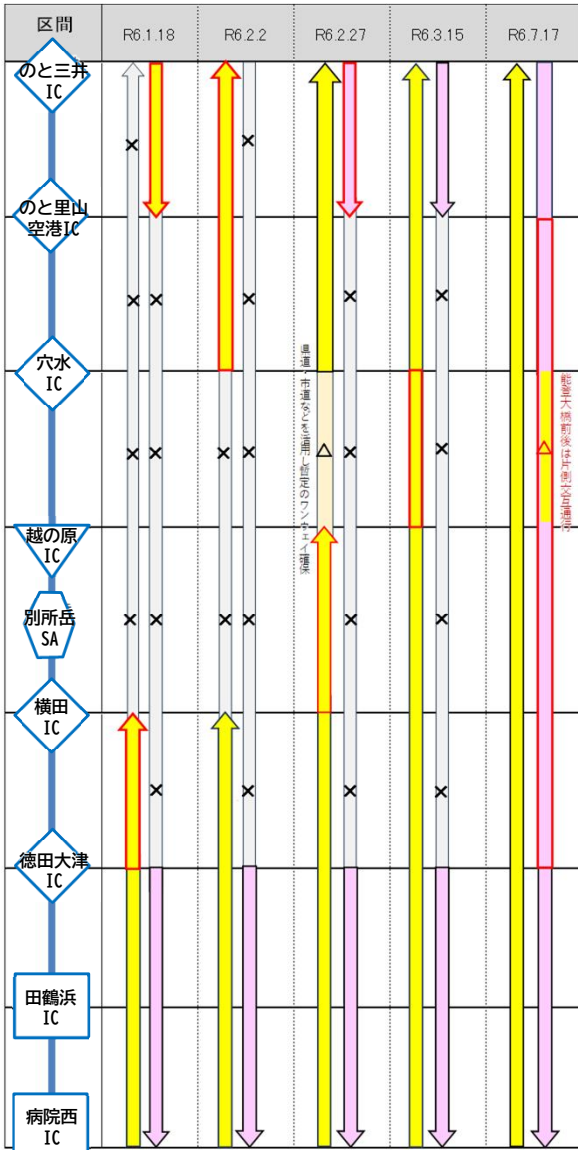
写真⑤ 国道249号鳥川橋



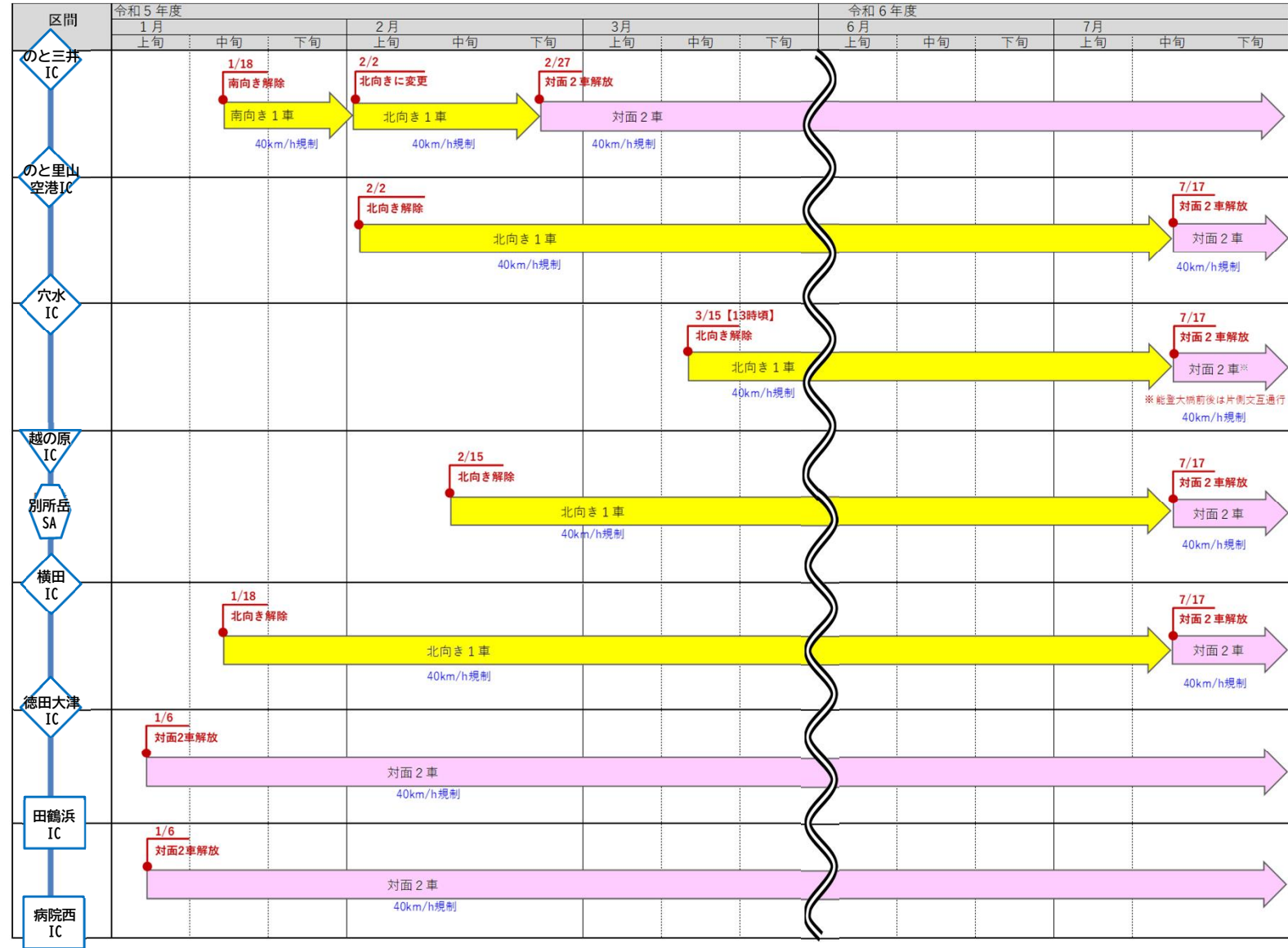
写真⑥ 国道249号大谷トンネル

①これまでの復旧状況

◆能越自動車道・のと里山海道（のと三井IC～病院西IC）



黄色 : 1車線確保
ピンク : 2車線確保
赤線 : 解除済箇所
赤線 : 新規解除箇所



②交通運用の状況

- 国道470号 能越自動車道・のと里山海道（のと里山空港IC～徳田大津IC）について、
7月17日（水）12時から、能登大橋付近を除く全区間で対面通行を確保 ※能登大橋は9月末までに対面通行確保予定



写真① 穴水IC付近



写真② 能登大橋上

災害復旧関係車両向け案内マップ

[令和6年7月20日時点]

○このマップは緊急車両や支援物資搬送等の災害復旧関係車両が被災地を通行する際の参考として作成しています。

○通行可能な路線においても、部分的に段差、道路幅が狭い箇所、迂回等がありますので、走行には十分注意してください。
また、余震や異常気象等により通行止めになる場合があります。

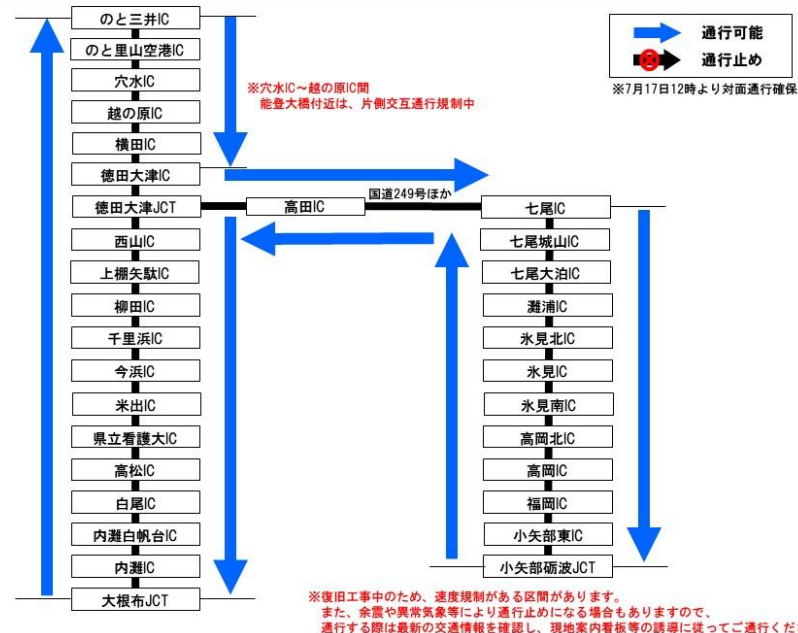
7月17日12時
通行止め解除
(南向き)



7月20日
路面の本復旧完了
40km/h規制解除



能越自動車道・のと里山海道 規制状況 (7月17日時点)



災害復旧や被災地支援を行っている皆様へ

金沢・富山方面から
被災地へ向かう際は
のと里山海道をご利用ください

北向き(金沢・富山方面から穴水方面)の
推奨アクセスルート



<移動時間の分散のお願い>
 北向きに移動する場合は、
 ・AM 11時以降～深夜の時間帯
 ・深夜～翌朝7時の時間帯は、
 交通量も少なく比較的スムーズに移動できます。



③交通状況(交通量の変化)

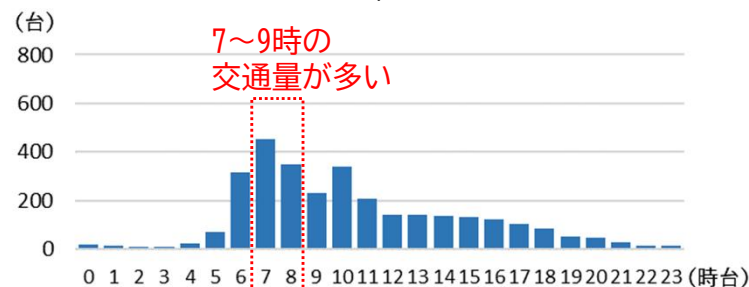
◆位置図



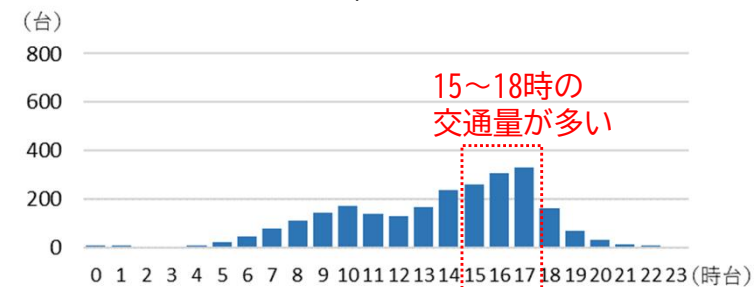
- 交通量観測位置(常設)
- 交通量観測位置(可搬型)
- ↑ 交通量集計断面

①国道470号能越自動車道 穴水町付近の日交通量【7月22日(月)】

北向き(穴水方向) 3,054台/日

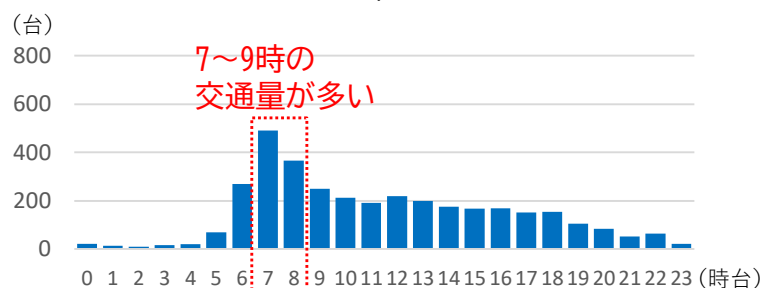


南向き(金沢方向) 2,434台/日

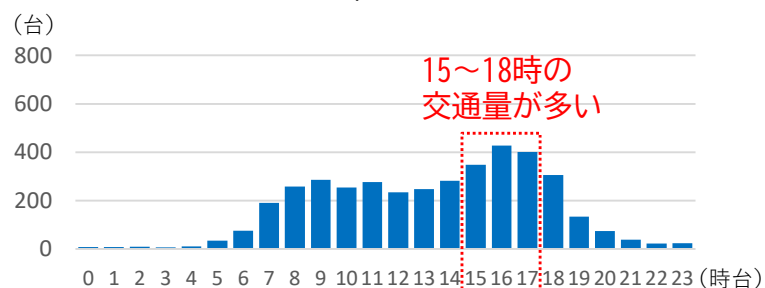


②国道249号 七尾市中島町付近の日交通量【7月22日(月)】

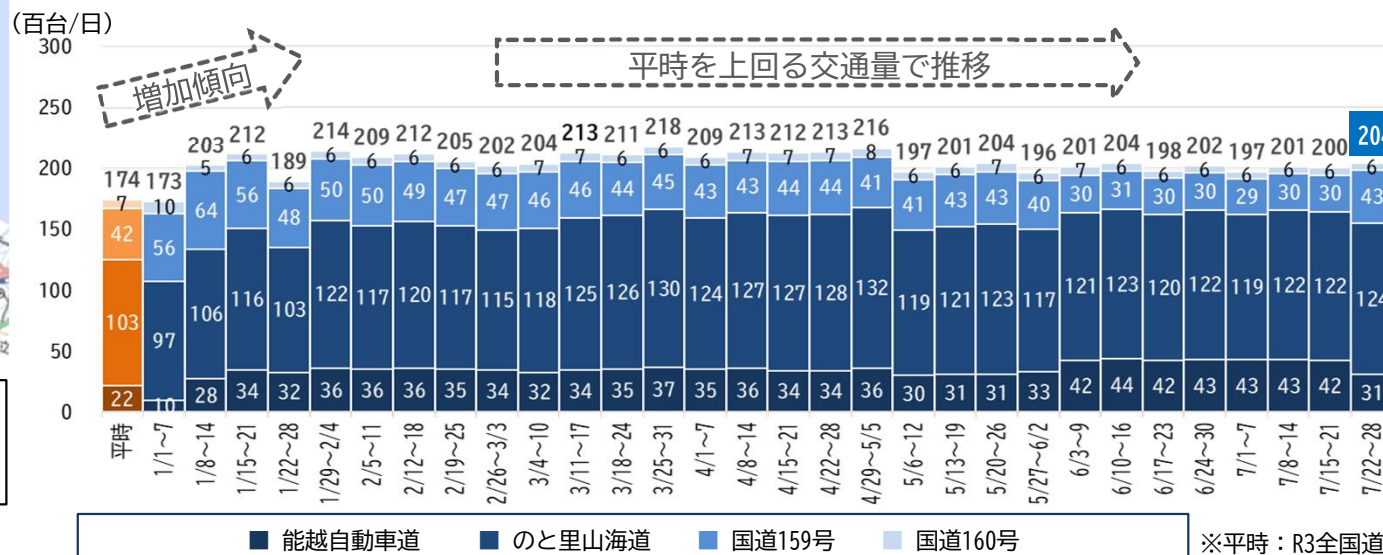
北向き(穴水方向) 3,500台/日



南向き(金沢方向) 4,000台/日



③奥能登2市2町方面への交通量推移(週平均)



←平時の1.2倍

←国道159号
1.0倍

←のと里山海道
1.2倍

←能越道
1.4倍

③交通状況(旅行速度の変遷)

- 能越自動車道・のと里山海道が通行止め時には、国道249号において混雑が発生
- 3月15日の通行止め解除後は、国道249号において目立った混雑は発生していない
- 7月17日の対面通行実施後は、穴水町市街地の混雑緩和や国道249号の速度が向上

◆七尾市～輪島市の旅行速度図（日中：7時～19時）

【速度凡例】 20km/h未満 21～30km/h 31km/h～40km/h 41km/h～50km/h 50km/h以上
 【規制情報凡例】 能越自動車道・のと里山海道 通行止

1月11日(木)



R6.1.18 通行止解除
 ・のと三井IC～のと里山空港IC(南向き)
 ・横田IC～徳田大津IC(北向き)

1月18日(木)



R6.2.15 通行止解除
 ・越の原IC～横田IC(北向き)
 R6.2.27 通行止解除
 ・のと三井IC～のと里山空港IC(南向き)

2月28日(水)



3月18日(月)



R6.3.15 通行止解除
 ・越の原IC～穴水IC(北向き)
 ※全区間で輪島方面への通行可能

7月19日(金)

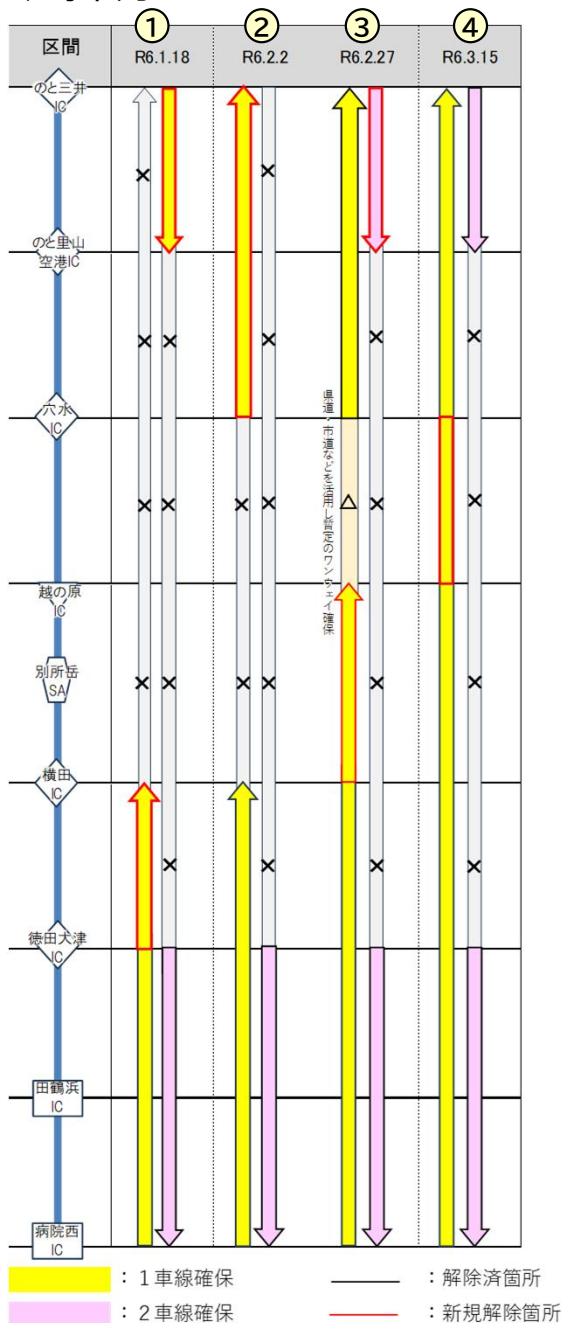


R6.7.17 通行止解除
 ・徳田大津IC～のと里山空港IC(南向き)
 ※全区間で対面通行可能

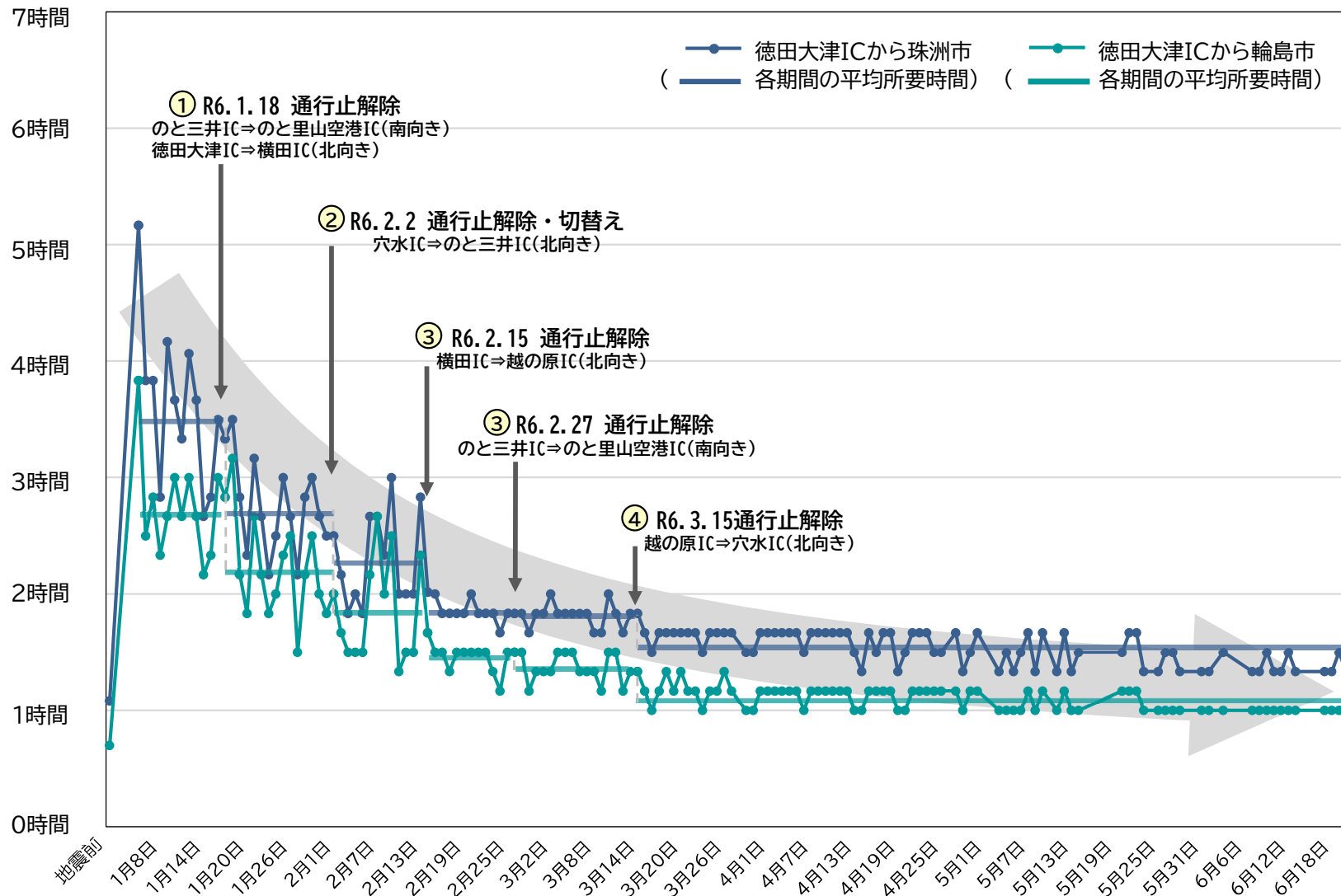
※ETC2.0プローブデータ

③交通状況(所要時間の変化)

◆時系列



◆所要時間の推移(奥能登2市2町方面)



(出典)

所要時間は10分単位でまるめ

地震前: R3全国道路・街路交通情勢調査 日交通量により算出

1月6日~1月15日:

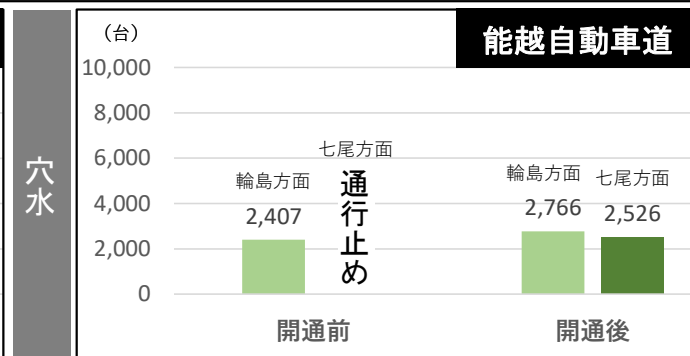
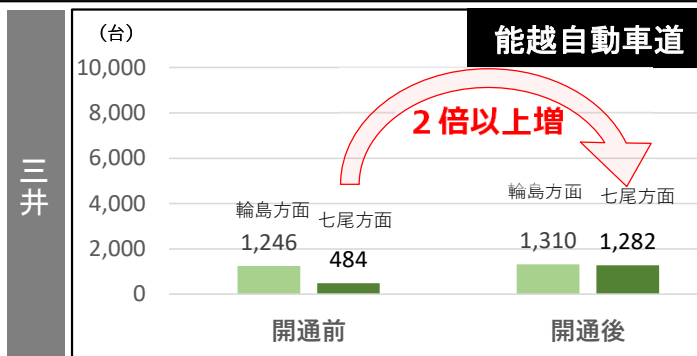
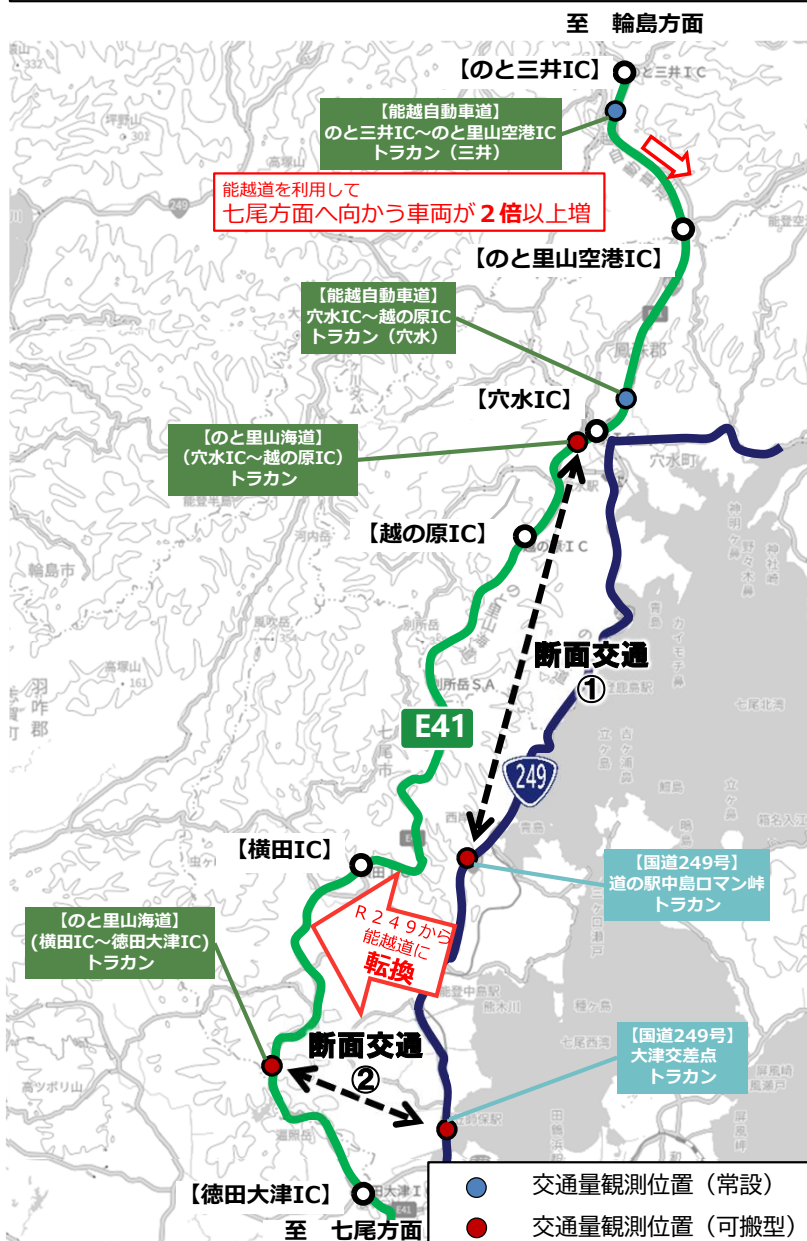
実走実績(徳田大津ICからの出発時刻は7時~9時)

1月16日~6月21日:

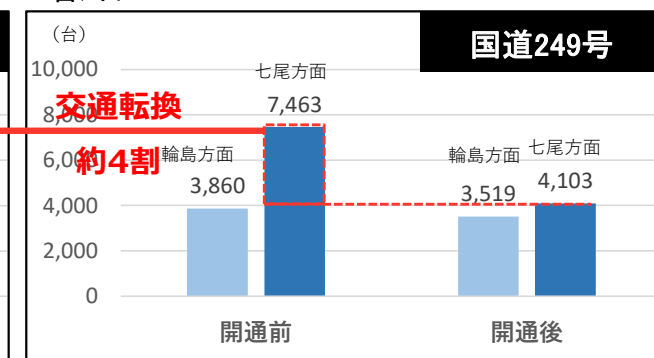
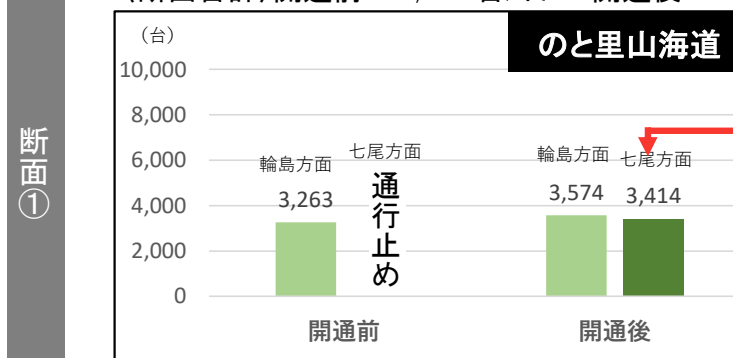
令和6年能登半島地震 道路復旧見える化マップ(9時台発)

③能越道・のと里山海道の対面通行による交通量変化

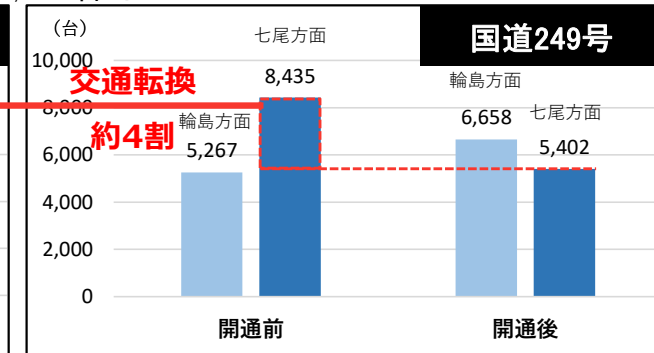
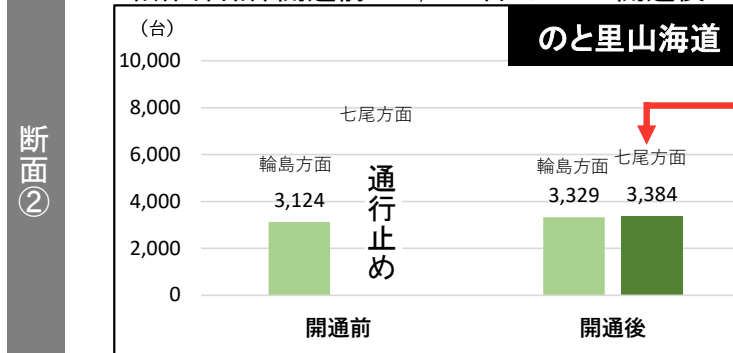
- 「のと里山空港IC～徳田大津IC」間における全線対面通行前後の交通量を比較
- 能越自動車道（のと三井IC～のと里山空港IC）を利用して七尾方面へ向かう車両が2倍以上増加
- 七尾方面へ向かう車両は、「国道249号」から「のと里山海道」へ約4割の交通転換を確認



〈断面合計〉開通前 14,586 台/日 開通後 14,609 台/日



〈断面合計〉開通前 16,826 台/日 開通後 18,773 台/日



※開通前：開通1週間前の日交通量の平均値（平日）
※開通後：開通1週間後の日交通量の平均値（平日）

③能越道・のと里山海道の対面通行による交通状況変化

- 「のと里山空港IC～徳田大津IC」間における全線対面通行前後の所要時間を比較
- 【北向き】徳田大津ICからののと里山空港ICで、約8分の時間短縮を確認
- 【南向き】のと里山空港ICから徳田大津ICで、交通転換により能越道・のと里山海道および国道249号ともに対面通行前に比べ約20分～23分の時間短縮を確認



◆（北向き）徳田大津IC→のと里山空港IC間の所要時間の比較 ※ピーク時間：北向き7時～9時

【能越道・のと里山海道を利用】 通過地点		路線	延長 (km)	所要時間(分)	
				対面通行前	対面通行後
徳田大津IC	→ 横田IC	のと里山海道	11.1	14.4	11.5
横田IC	→ 越の原IC	のと里山海道	11.7	18.8	16.1
越の原IC	→ 穴水IC	のと里山海道	3.6	5.1	5.1
穴水IC	→ のと里山空港IC	能越自動車道	6.1	10.7	約8分短縮 8.0
徳田大津IC	→ のと里山空港IC		32.5	49.0	40.7

◆（南向き）のと里山空港IC→徳田大津IC間の所要時間の比較 ※ピーク時間：南向き16時～18時

【国道249号を利用】 通過地点		路線	延長 (km)	所要時間(分)	
				対面通行前	対面通行後
のと里山空港IC	→ 此木交差点	県道柏木穴水線	5.5	9.2	6.9
此木交差点	→ 金比羅交差点	県道七尾輪島線	1.4	5.4	2.2
金比羅交差点	→ 大津交差点	国道249号	21.6	42.3	28.3
大津交差点	→ 徳田大津IC	県道田鶴浜堀松線	2.7	4.2	約20分短縮 3.4
のと里山空港IC	→ 徳田大津IC		31.1	61.1	40.8

【能越道・のと里山海道を利用】 通過地点		路線	延長 (km)	所要時間(分)	
				対面通行後	
のと里山空港IC	→ 穴水IC	能越自動車道	6.1	6.2	
穴水IC	→ 越の原IC	のと里山海道	3.6	4.7	
越の原IC	→ 横田IC	のと里山海道	11.7	約23分短縮 14.9	
横田IC	→ 徳田大津IC	のと里山海道	11.1	12.1	
のと里山空港IC	→ 徳田大津IC		32.6	37.9	

●対面通行前：3月18日～24日の平日ピーク時間における1週間の平均値

●対面通行後：7月18日～24日の平日ピーク時間における1週間の平均値

出典：ETC2.0プローブデータ

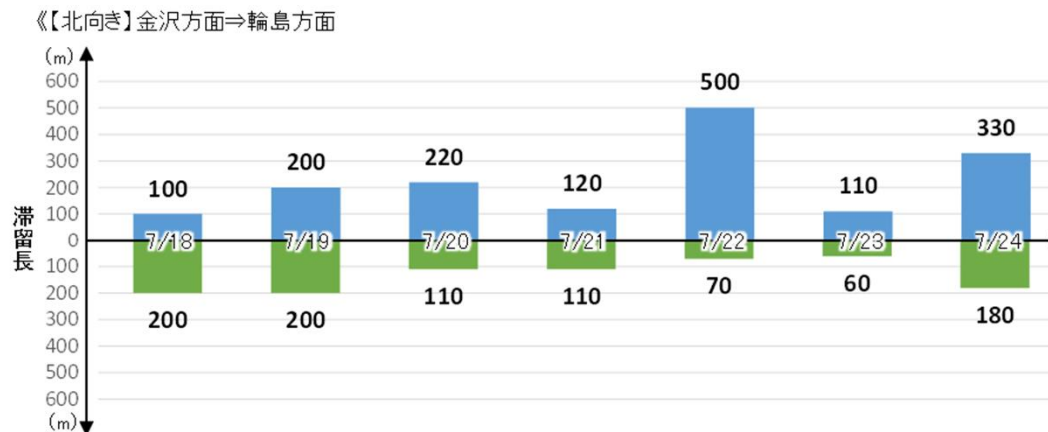
③能登大橋付近(片側交互通行)の交通状況

- 能登大橋付近の片側交互通行区間は、交通誘導員を配置し、車両の滞留状況に応じた交通誘導を実施
- 実走プローブ調査結果より、最大滞留長は北向きで500m、南向きで200mであったが、いずれも1回の待ちで片側交互通行区間を通過（通過時間は最大で北向き3分、南向き2分）

◆位置図



◆能登大橋付近の片側交互通行区間における日最大滞留長



《【南向き】輪島方面⇒金沢方面

※調査期間: 7/18(木)～7/24(水)の日最大滞留長

出典: 旅行速度等調査結果

◆能登大橋付近の片側交互通行区間における対応

○24時間体制による交通誘導

⇒ピーク時間帯が北向きと南向きで異なることから、偏った滞留が発生しないように、24時間体制で交通誘導員により滞留長など交通状況を確認しながら適切に誘導

○石川県と連携した情報提供

⇒道路管理者間で連携し、能越自動車道、のと里山海道の情報板に片側交互通行規制に関する情報を表示し、能登大橋付近の追突事故に対する注意を促す



交通誘導の状況

情報板案内

【参考】能越道・のと里山海道の対面通行による交通状況変化

- ✓ 能越自動車道・のと里山海道の全線対面通行による交通状況を面的に比較（タピーク時間帯）
- ✓ 全線対面通行後、並行する国道249号では速度が向上し、穴水町市街地の混雑も緩和
- ✓ また、片側交互通行を継続している能登大橋付近においても、40km/h程度の旅行速度を維持

能登半島 広域図



【凡例】

- 0～20km/h
- 20～30km/h
- 30～40km/h
- 40～50km/h
- 50km/h～

対面通行前
〔令和6年4月平日 16時～18時 旅行速度データ〕



対面通行後
〔令和6年7月平日 16時～18時 旅行速度データ〕



- 対面通行前：4月15日～21日の平日ピーク時間における1週間の平均値
- 対面通行後：7月18日～24日の平日ピーク時間における1週間の平均値

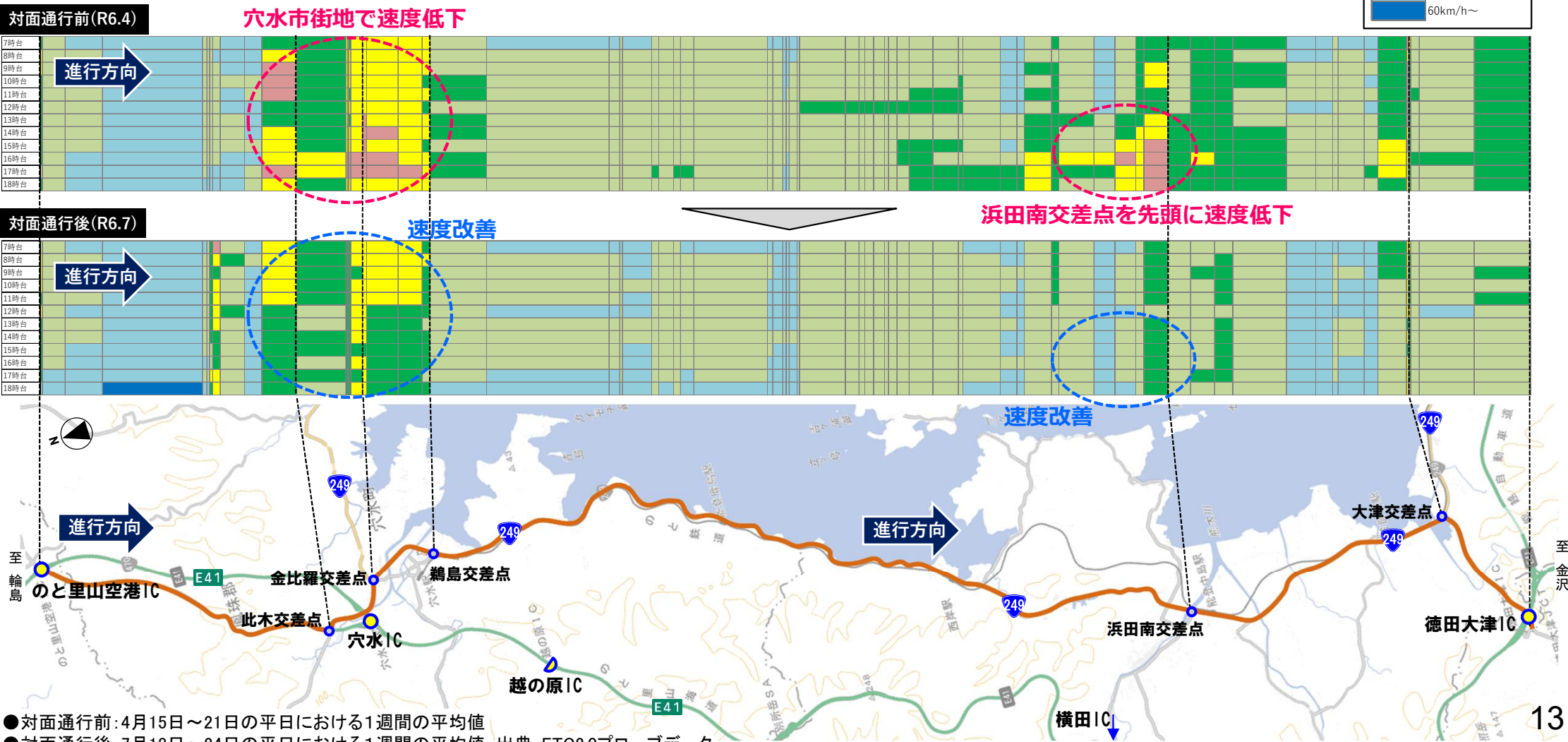
※ピーク時間：16時～18時
出典：ETC2.0プローブデータ

【参考】能越道・のと里山海道の対面通行による交通状況変化

- ✓ 能越自動車道・のと里山海道の全線対面通行によるR249の「のと里山空港IC～徳田大津IC」並行区間の旅行速度を比較
- ✓ 対面通行前、タピークを中心に穴水市街地や浜田南交差点を先頭に混雑が発生していたが、能越道・のと里山海道が対面通行可能になったことで交通量が転換し、混雑緩和がみられた。



【南向き】R249の「のと里山空港IC」→「徳田大津IC」間の並行区間の旅行速度の比較



- 公共交通(鉄道、バス、タクシー)の復旧は順次進められているが、その情報は日々刻々と変化
- 甚大な被害となった能登半島地震からの復興を支援、とりわけ、クルマを失った方や移動手段を持たない方の公共交通での移動を支援するとともに、公共交通利用誘導による道路渋滞緩和を目的に能登地域における公共交通の運行状況の一元的な提供サイトを立ち上げ
- 公共交通への誘導による道路渋滞緩和にも寄与

◆ 目的の交通機関を簡単に探せるよう配慮



のと公共交通情報提供研究会メンバー及び協力体制(順不同)

公立小松大学教授、金沢大学名誉教授 高山純一(代表)
株式会社日本海コンサルタント 塩土圭介(事務局)
北陸鉄道株式会社
金沢の都市と交通を考える会(K. CAT)
災害時公共交通情報提供研究会(平成30年西日本豪雨災害時より活動)
呉工業高等専門学校教授 神田 佑亮
合同会社MoDip 代表 諸星 賢治

本取組が、日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)において、「JCOMM賞(プロジェクト賞)」の受賞が決定

受賞理由(抜粋):災害時に正確な公共交通情報を網羅的に分かりやすく提供する体制が迅速に構築された点は、高く評価され、今後の災害時における交通情報提供問題への貢献が大いに期待できる。

◆ 能登地域における鉄道、バス、各市町の公共交通の運行状況を網羅

※目次の凡例：青：通常ダイヤで運行 黄：一部運休または臨時ダイヤ 赤：運休

目次 [開じる]

1. JR西日本(金沢～七尾・和倉温泉)【4/27より時刻表通りの運転時刻に】

2. のと鉄道【7/20～ダイヤ改正(通常ダイヤ)】

3. 特急バス(金沢～穴水・輪島・能登町・珠洲)【臨時便運行】

1. 輪島特急：金沢駅～穴水～(のと里山空港)～輪島市役所前

2. 珠洲特急：金沢駅～穴水～のと里山空港～珠洲市役所前

3. 珠洲宇出津特急：金沢駅～穴水～のと里山空港～柳田～能登町役場

4. 高岡・氷見～和倉温泉 特急バス「わくライナー」(加越能バス)

5. のと里山空港関連

1. フライト情報(ANA)

2. 交通アクセス(ふるさとタクシーなど)【要予約】

6. 奥能登地区一般路線バス(輪島、珠洲、穴水、能登)(北鉄奥能登バス)

7. 能登地区一般路線バス(七尾、羽咋、中能登、志賀)(北鉄能登バス担当便)

1. 七尾駅発着路線【3/3より、一部路線を除き全便運行再開】

2. 羽咋駅～志賀町関連路線【3/3より、一部路線を除き全便運行再開】

8. 能登島方面(能登島交通)【6/3～平常運行】

9. 各市町のコミュニティバス等

1. 七尾市【運行再開】

2. 輪島市【8/1より、市街地部で「のらんけ+」運行開始】

3. 珠洲市【すずバス 臨時ダイヤで運行】【7月1日から一部改正】

4. 羽咋市【運行再開】【7/1～運行時刻変更】

5. 宝達志水町【運行再開】

6. 中能登町【運行再開】

7. 志賀町【運行再開】

8. 穴水町【臨時無料バス運行開始】

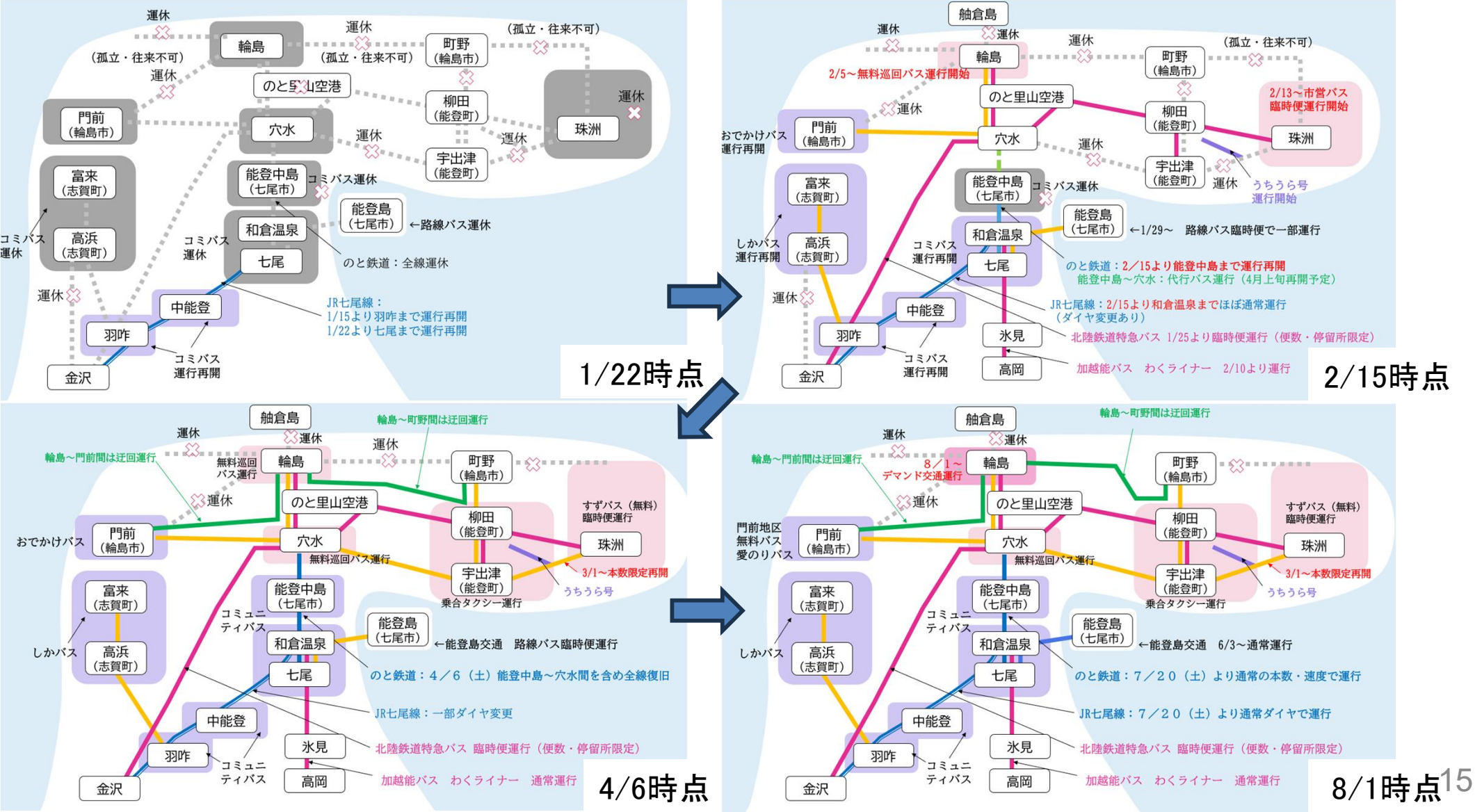
9. 能登町【一部運行再開】

10. タクシー

11. 災害ボランティアに参加される方の現地への移動に関して

- 公共交通の復旧状況を簡易に一覧できるマップを配置
- 情報源はすべて各交通事業者及び各自治体の公式発表に基づき、詳細については、公式ホームページへのリンクへ誘導することにより、情報の信頼性を担保。
- 毎日各交通機関の更新状況を確認し、更新があればすぐに変更を反映

【公共交通マップ】



【参考：能登地域における公共交通の復旧の状況(主なもの)】

■鉄道：

JR七尾線：1/15より、羽咋まで、1/22より七尾まで運行再開
2/15より、七尾～和倉温泉（特急）まで運行再開

のと鉄道：1/29より、七尾～穴水間の代行バス運行
2/15より、七尾～能登中島まで運行再開
4/6 より、能登中島～穴水間を含め全線復旧
（仮復旧による速度制限のため一部減便）
7/20より、震災前と同じ本数・速度で運行再開



のと鉄道復旧後の状況
(4月11日撮影、能登鹿島駅(能登さくら駅))

■特急バス：

1/25より、金沢～穴水・輪島・能登町・珠洲まで、計4往復
（輪島2往復、珠洲1往復、能登町1往復）
運賃無料により臨時運行（被災者関係者優先）
3/16より、本数を計6往復として運行
（輪島4往復、珠洲1往復、能登町1往復）
（上記のほか穴水～珠洲間路線バス1往復）

■一般路線バス：

奥能登地区：3/1より、本数限定にて順次運行再開
現在も一部エリアで運行休止または迂回あり



特急バス復旧後の状況
(2月13日撮影、珠洲市：すずなり館前バス停)

■各市町コミュニティバス等：

2月より、奥能登各市町で巡回バス等が運行開始
8/1より、輪島市において A I 乗合オンデマンド交通の運行開始

④今後の対応(案)

・能越自動車道・のと里山海道が7月17日より対面通行確保

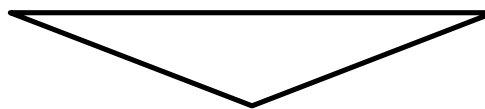
※能登大橋付近は当面の間、片側交互通行規制が継続

9月末までに対面通行確保予定

※周辺道路を含めて目立った混雑は確認されていない

・のと鉄道が7月20日より通常ダイヤでの運行再開

※震災前と同じ本数及び速度で運行



交通状況を踏まえ、必要に応じて情報発信、広報を実施